

皆さんおはようございます。この度、4月1日付けでこの尼崎小田高校に着任しました校長の山根です。神戸市にある長田高校から来ました。よろしくお願いします。初めて本校に来る途中に、制服姿の尼小田生を見かけました。すべての生徒が、短い距離の信号をきちんと守っている姿を見ました。校舎に入るとききれいに掃除されている廊下を見ました。ルールを守れて、皆のことを考えることができる生徒たちなんだと感じ、うれしくなりました。

本校は、式典等以外、私服を認めています。県下にも服装を自由に行っている学校が増えています。前任校もその隣の学校もそうでしたので、私的には違和感はありません。ただ、自由には必ず責任がついてまわります。例えば、服装は自分たちで判断して自由だけど、勉強、部活、行事なども高校生としてきちんとやる。長年、服装も生徒に任されている学校の生徒達は、それを誇りに思い、プライドとして取り組んでいます。尼小田生もきっとそうなんだろうと思い、実はこの部分が一番ワクワクしているところです。そのような尼小田生としての誇り、プライドみたいなものを伝統としてつないでいって欲しいと期待しています。このあと、新1年生の入学式があります。尼小田に憧れ、先輩である皆さんに憧れながらも、期待と不安を抱えて入学してくる新入生を温かく迎えてあげてください。そして、伝統を伝えてください。

さて、皆さんが生きている今のこの時代は、激しい変化が短いスパンでおこる予測不能な時代です。コロナを始め、ウクライナやガザで起きている不幸な出来事などがその象徴です。このような時代には、知識の吸収だけに長けていても活躍できず、自分で新しいものを創り上げていったり、変化に柔軟に対応する力が必要です。

尼崎小田高校が力を入れて取り組んでいる教育に探究による学びがありますが、その学びはまさにこれらの力を身につけるのに最適だと考えています。現状を正しく認識し、適切な課題を見つけ、その課題解決に向けて粘り強く取り組み、そして、得られた成果や知見を多くの人との共感を得ながら発信する。この探究活動の一連の学びから、リーダーシップや協調性、レジリエンス、自己肯定感、そして自分で判断する力などの、いわゆる非認知能力を身につけて欲しいと考えています。この力は、皆さんが進学した際、また社会人になったときに大きな武器になります。そして、先ほど話した尼小田生としてのプライドの育成にもつながると信じています。

令和6年度が、皆さんにとって、これらの力を身につけることのできる、その礎となる1年になることを期待して講話とします。